

平成23年4月第6回教育委員会定例会

【日 時】平成23年4月21日(木)午後1時30分～午後4時00分

【場 所】北栄町役場大栄庁舎 第2・3会議室

【出席者】吉田助三郎委員長・河本恒夫委員長職務代理者・齋尾暁美委員・磯江典子委員・岩垣教育長・田中教育総務課長、西村生涯学習課長・岩田指導主事・桑本指導主事・大庭教育総務課係長

【議事日程】

1 会議録署名委員の指名 河本委員、齋尾委員を指名

2 行政報告

教育長

- ・4月4日、北栄町立小中学校教職員着任式について

(説明)北条小 学校栄養職員(臨時)遠藤さんが家庭の都合により4月22日付けで退職。4月25日から藤原さんが着任。

- ・4月8日、北栄町立小中学校入学式について

- ・4月13日、県教育委員会教育行政連絡協議会について

(説明)新規事業

学校問題解決支援事業...弁護士相談、退職校長助言など

学校ボランティア事業(県:補正対応)

...学校支援地域本部事業=学習支援ボランティア事業

今年度は参加しない。(国が市町村に枠を当てはまるのか。学校では取り組んでおりまだ必要性がない。)

(質問)新規事業は将来的に地域を巻き込んで学校を支援していくことが目的にあるのではないか。

(回答)そういうことだ。

(意見)学校にはまだいらぬということではなく、将来的なビジョンということ。

(補足)学校教員の多忙な現状から出てきたものと思われる。

- ・4月21日、平成24年度中学校教育課程移行について

教育総務課長

- ・(財)竹歳敏夫奨学育英会について

- ・転任・新任教職員着任式について

- ・入学(園)式について

- ・平成23年度全国学力・学習状況調査の延期について

- ・中学校修学旅行の行先変更について

- ・学校行事について

生涯学習課長

- ・婦人会総会について
- ・第1回体育指導委員会協議会について
- ・北栄健康てくてくウォーキングについて
- ・高齢者対象講座シニアクラブ開講式について
- ・高校生マナーアップさわやか運動について
- ・北条歴史民俗資料館企画展について
- ・アザレアのまち音楽祭2011「小倉美香子ソプラノコンサート」について

3 議事

議案第33号 小・中学校主任等の任命について

(意見) 4月には任命すべきである。来年度はわかった段階で報告を受け、4月の委員会で決定、辞令書を送付すること。

原案のとおり承認。

議案第34号 幼稚園評議員の委嘱について

(質問) 保護者は入っているのか。

(回答) 特に定めはない。

(質問) 評議員会は開かれているのか。

(回答) 必要に応じて開催している。また、定例的に協議されている。

(質問) 開催されるということであれば、保護者が入っているのはなじまないのではないか。PTAがある中で参加しているのは方向性が合うのか。

(回答) いけないわけではないが幅広く意見を聞くという面では問題ない。校長会でPTAとしてどうか伝えるとともに、入ってもらっている考え方を聞いてみる。

原案のとおり承認。

議案第35号 北栄町教育行政評価委員の委嘱について

原案のとおり承認。

議案第36号 北栄町スポーツ振興審議会委員の委嘱について

原案のとおり承認。

議案第37号 区域外就学について

(質問) 案件からして継続する可能性があり1年間でもいいのではないか。

(回答) 要綱により1学期間としている。

(質問) 保護者が1学期としたものか。

(回答) そのとおりです。

原案のとおり承認。

議案第 38 号 準要保護児童生徒の認定について

(質問) 申請書に校長への支払いの委任についてあるが、本来の趣旨からい
えば直接交付ではないか。

(回答) 原則直接交付であるが、規則で学校納付金に未納がある場合、目的
外使用の防止の観点から納付金未納分に充てることが出来ると定め
ており、そこで支払いを校長に委任しているものである。

原案のとおり承認。

議案第 39 号 スクールバスの取扱いについて

(質問) P T A の要望は学校経由で行うのではないか。

(回答) 校長経由で提出されることが一般的である。学校と協議する。

(質問) 距離等の基準はどうなっているのか。

(回答) 大栄地区では距離はおおむね 4 キロとあるが、北条地区では特にな
く、東西南の遠い地区で子どもの防犯上スクールバスで通学している。

(意見) 子どもの防犯上問題がある。

原案のとおり承認。

議案第 40 号 北栄町人権同和教育推進協議会補助金交付要綱の制定について

(質問) 第 3 条第 2 項第 5 号の「その他の目標」とは具体的に
あるのか。

(回答) 目的を達成するために 1 ~ 4 号に定めるもの以外
のもの。協議会は 1 ~ 4 号を定めているが、その他で必要なものを
該当させるもの。

原案のとおり承認。

議案第 41 号 北栄町部落解放文化祭活動費補助金交付要綱の制定について

原案のとおり承認。

議案第 42 号 部落解放同盟北栄町協議会活動費補助金交付要綱の制定について

原案のとおり承認。

議案第 43 号 学校評議員の委嘱について

原案のとおり承認。

議案第 44 号 北栄町小中学校 P T A 活動費補助金交付要綱の制定について

原案のとおり承認。

議案第 45 号 北栄町婦人会活動費補助金交付要綱の制定について

原案のとおり承認。

4 報告

・各課の事務分担について

(説明) 生活相談員が不在となっている。3月31日に辞職されたことに伴い
地区自治会からの推薦を依頼しているが、地区において3名の立候補が

あったようで、1名に絞ってもらうよう依頼したが、絞れないとのことであったが、再度話し合いをしてもらうこととしている。

(質問) 適任者ではあるのか。

(回答) 町としては1名を推薦してもらう。推薦できない場合には次にどうすればいいか考えなければならないが、生活に入り込むものであり、誰でもいいというものではないため、地区で推薦して欲しいと伝えている。さらになかった場合は公募するしかない。

(意見) 民生委員の意見を聞いてはどうか。

(回答) 1地区は民生委員を兼ねている。任命は3地区から推薦してもらった方について適任者かどうか判断し町長が任命するが、現在、地区からの推薦が出来ていない状況である。

- ・平成23年4月北栄町議会臨時会の報告について
- ・議会陳情案件の報告について

(質問) 妻波の通学路の改善は、中学校からは出ていないのか。中学生の方が怖いと思うが。

(回答) 小学校のみの要望。

(意見) 通学時間帯には通らないこととなっているが、周辺に待機している状況。鉄粉が落ちていて自転車がパンクすることもあると聞く。新しい動きとしては、どうも現在の場所で作業を続けるようだ。妻波自治会保護者会の方に聞いてみたが通学路の変更は特に話はないようだ。事故があってから遅い。校長も新しくなり再度要望し再認識してもらう。

- ・平成23年度北栄町教育委員会計画訪問の実施について

(質問) 幼稚園訪問について、平成24年度から幼保の取組みの教育のかかわりはどう考えているのか。

(回答) 中身はまだこれからであるが、検討している段階である。

(意見) 就学前教育を実施するのであれば、平成24年度に間に合うように実施すべきだ。

(回答) 幼保：由良、大誠、保育：栄、大谷。幼保で取り組むことについて概略は作成している。

(意見) 幼保のあるべきすがたを教育委員会で把握すべきだ。進捗状況を定期的に報告すること。幼稚園部分は教育委員会がかかわるべき。

(回答) 幼稚園教育の内容は教育委員会がかかわるべきと考えている。

(意見) 幼稚園機能があるのであれば教育委員会がかかわるべき。したがって北条地区のみならず、由良、大誠もかかわるべき。

(意見) 教育委員会がいくメリットがある。保育その先生の意識は変わってくる。

(意見) 教育委員会がかかわっていかなければいけない。

(回答) 保育所の幼稚園教諭対象者もセンター、県教委の研修を受けることとしている。

(質問) 平成24年4月スタートするが、大栄は大誠と由良が幼稚園機能を有し教諭となるのか。栄、大谷は年齢が来れば、大誠と由良へ移動することとなるのか。

(回答) そうなると考えている。

(質問) 子どもがますます少なくなる。住民は理解しているのか。

(回答) 地域座談会でもあったが、保育所は町の核施設となる。また、少人数であつたほうがいい。

(質問) 保育所と子ども園の入所は保護者が選択することが出来るのか。

(回答) 確認したい。

(意見) 中心となる所管がわからない。

(回答) 町民課が主体である。

(意見) 教育委員会のかかわりを明確にすべきである。

(質問) 園長は教諭免許が必要ではないか。

(回答) 確認にしたい。

(意見) 園長となる人がどこまで理解されているのか。運営する以上に理解が必要となる。町民課との考え方がどのように違うのか考えておく必要がある。

(質問) 来月には具体的な日程が出来るのか。

(回答) 5月上旬に文書を配布する予定である。

・北栄町立小・中学校扇風機設置工事の効果について

・教育行政評価委員よりD判定を受け事業の改善について

(質問) 研修会の必要があるのか。必要性が感じられない。必要な研修としなければならぬ。メニューを増やすと役員の負担が大きくなる。だから取り組まない。

(回答) 自治会での生涯学習活動に取り組んでもらいたい。

(意見) 問題は、住民の意識である。

(回答) 行政ができる事業、大栄分館と差別化してできる事業を考えたい。

(意見) 自治会長会からでも出してもらえば事業に取り組みやすかった。

(回答) そのことは取り組み方法、人選の面からも依頼したい。

(意見) 役員のサポートをしてもらいたい。

5 その他

・第8回中国地区市町村教育委員会連合会研修大会について

・鳥取県市町村教育委員会研究協議会総会・研究大会について

・学力向上対策について

(意見) 学校支援地域本部事業、学習支援ボランティア事業が打ち出されたが、国としては手あげ方式か。

(回答) 県としては、全県の学校で取り組むよう網羅したいようであった。

(質問) 示された事業を行うのか。独自ではできないのか。

(回答) 必須となる事業がある。

(意見) ボランティアがいると教員は楽になるのか。

(回答) 専門的なことや地域に関すること、社会科や特別活動は現実に行っていて助かる面もある。学校は必要に応じて実施している。

(意見) 下学年学習は活動として必ずしもいいものではない。ボランティアを受け入れることに時間を使ってしまう。

(意見) 取組む趣旨として開かれた学校、地域に根差した学校づくりからきている。大きな学校の流れから事業を考えているようだ。今後はその方向で進んでいく。

(意見) 学校の安全性に苦慮することもあり、すべてにおいて受け入れると危険性がある。

・次回教育委員会 定例会 5月31日(火)午後1時30分予定